

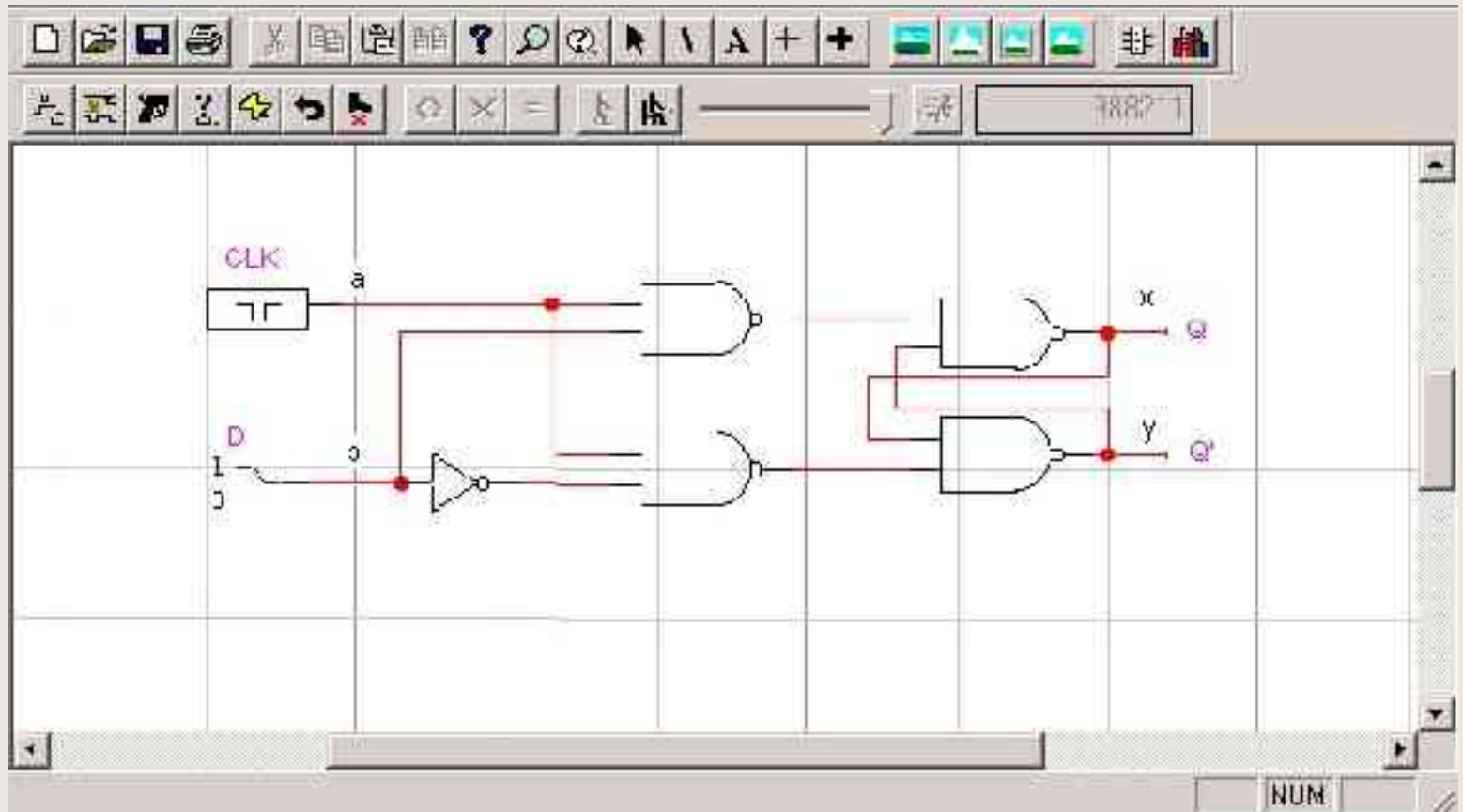
# 解析

大森健児  
情報科学部  
法政大学

# 論理回路の解析

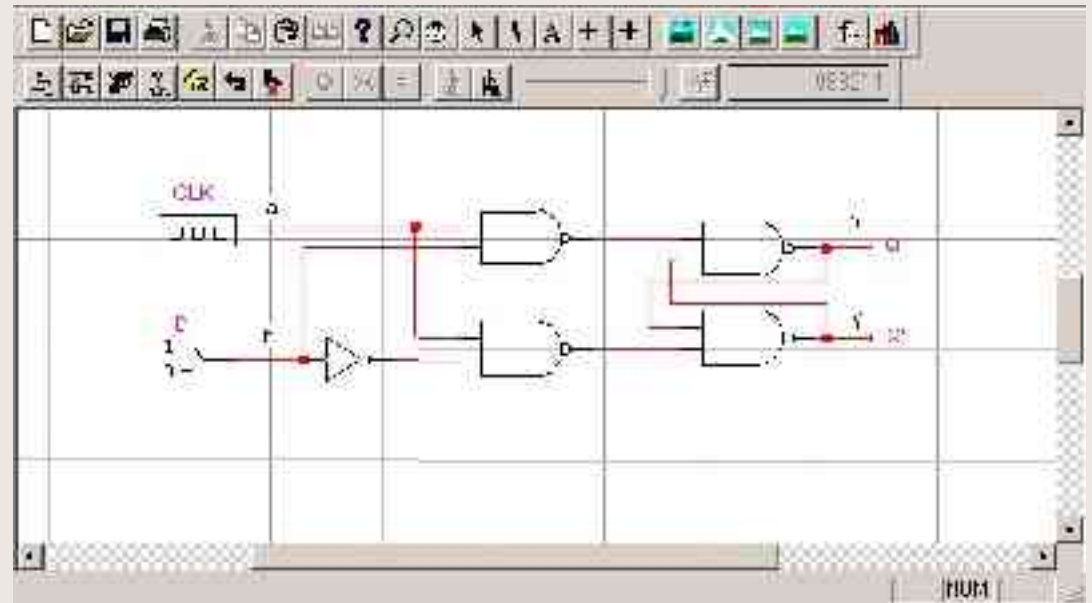
- ループを構成している各ゲートの出力に状態変数を設定 ( $y_1, y_2, \dots, y_n$ ) し、現在の時間での ( $y_1^t, y_2^t, \dots, y_n^t$ ) と、微少な未来の時間での ( $y_1^{t+1}, y_2^{t+1}, \dots, y_n^{t+1}$ ) との論理関係を得る。
- これを状態遷移を表しているものとし、これより、状態遷移図を作成する。

# D-FF の解析



# D-FF の方程式

- $x_{t+1} = ab + y_t'$
- $y_{t+1} = ab' + x_t'$



# 状態遷移の表

ab	00	01	11	10
xy				
00	11	11	11	11
01	01	01	11	01
11	00	00	10	01
10	10	10	10	11

# 状態遷移図

